市政モニターアンケートから

自分たちの町は自分たち住民で

◇……道路や川の美化……◇

市政モニター制度も今年で三年目を迎えました。これは市民の声を市政に反映さす広聴活動の一環として設けられたものです。

このほど「環境問題について」モニターのみなさんに、アンケートをお願いし、その結果がまとまりました。

なお、二十人のモニター全員から回答が寄せられ、回収率は百パーセントでした、アンケートの主なものは次のようなものです。

住みよい町50パーセント

■南国市は、県下の市町村とくらべて住みよいと思いますか。

「住みよいと思う」が50パーセントで半数、「思わない」が10パーセント「どちらともいえない」が40パーセントでした。

■南国市の川は、四～五年前とくらべて、全般的に美しくなったと思いますか。

「美しくなった」15パーセント「少しはよくなったがまだ不十分」が70パーセント「変らない」5パーセント「前より汚なくなった」が10パーセントで、汚なくなった理由として、ビニール、ポリ製品のゴミ、建物が増え自然が破壊されたなどでした。

■南国市を流れる川を美しくするには、どうすればよいと思いますか。

「自分たちの町は自分たち住民が清掃して美しくすべきだ」50パーセント「発泡スチールなどのゴミは、メーカーが使用しないようにすべきだ」が5パーセント「みんながゴミをすてないように市が住民に対し行政指導を強化すべきだ」が35パーセントでした。

路上駐車には罰則を

■あなたの住んでいる近くに交通量の多い道路がありますか。

「ある」75パーセントに対して「ない」が25パーセントです。

■道路に昼夜長時間駐車の列がならんでいる所が見うけられますがどう思いますか。

「絶対いけないことだと思う」が75パーセントで「これだけ車がふえればしかたがない」25パーセントでした。

■路上駐車をなくする対策としてどうすればよいと思いますか。

「駐車違反の罰則をきびしくして、取締るようにする」50パーセント「駐車禁止区域をふやす」20パーセント「市営駐車場を設ける」が30パーセントです。

不焼物ゴミの分別まだ不十分

■「ゴミを資源化するため、金属類とその他のものに分類して出すということで実施していますが、あなたの町ではどんな状況ですか。

「分類されて出されているようだ」55パーセント「まだ十分守られていないようだ」40パーセント「無回答5パーセントでした。

市では資源の再生利用と理立地を長くもたすために分別収集を実施しております。市民全員にご協力をお願いしたいものです。

■バスの停留所や路上に、空かんやタバコのすいがらなどがちらばっているのを見かけますが、これを処理するのは、どこがすべきだと思いますか。

「メーカーや専売公社の費用で収集すべきだ」10パーセント「買った本人の良識ですべきだ」85パーセント「近所の人が好意的に処理すべきだ」5パーセントで、環境の美化は各個人の自覚という意思が強く表られています。

■あなたの近くの道路や、みぞの清掃はどのようにしていますか。

「町内会等が中心になり日を決めてしている」25パーセント「自分が汚したわけではないからほとんどしない」10パーセント「その他」10パーセント「無回答5パーセントでその他の意見では農業者が年二回している。部落の人を雇っている。

■あなたは、し尿処理で一番困っているのは次のうちどれですか。

「定期的に収集してもらってないこと」10パーセント「水洗化ができないこと」5パーセント「困っていない」75パーセント「無回答」が10パーセントでした。し尿処理については定期的に収集されていること、農業者の自家処理などで現在は、あまり困っていないようです。

道路照明や公害対策を

■生活環境をよくするため、とくに必要と思われるものを三つ選んでください。

「通勤、通学、買物のための道路の整備」25パーセント「便所が水洗化できる公共下水道の整備」35パーセント「ハエや蚊の駆除などの環境衛生対策」35パーセント「公害対策」45パーセント「歩行者の安全をはかるための交通対策」25パーセント「公園や緑地の整備」30パーセント「自然保護」25パーセント「街灯や道路照明の整備」50パーセント「その他」5パーセントで、その他の意見では農道の整備でした。防犯対策として道路照明の整備、公害対策、公共下水道の整備、環境衛生対策の必要性が強く出ています。

■市は限られた財源で、市民の要望や意見に応えていかなければなりませんがどんな方法で対処すべきだと思いますか。

「恵まれない市民のための施策を優先すべきだ」20パーセント「下水道や道路など基礎的な施策を優先さすべきだ」25パーセント「市民はそれぞれ要望があるのだから、うすくなっても全体に配分すべきだ」25パーセント「その都度必要なもの、要求の強いものからやればよい」20パーセント「その他」10パーセントで、その他意見は、福祉のための諸事業を効果、重要度を勘案しながら年次別に実施すべきだ。個人又は地域が協力する所を最優先すべきだ。

■その他に意見がありますか。

川にビニール、発泡スチロールなど四～五年前よりは大分少なくなったようですが行政指導を十分にしてください。

ゴミの収集には心から感謝しています。

住民の声、要望には的確な責任者の回答してほしい、直ちに実施出来なくても必要と認められるものについては、基本構想や実施時期の見込等を示してほしい。

若いものはスポーツ、老人は老人クラブでそれぞれ活動していますが五十歳位の中年層を対象とした企画をしてください。

後免東町の交通混雑についての何か対策を講じてほしい。

市役所の職員は市長以下公僕精神に徹すること。

失業対策事業を廃止せよ、不可なれば縮少せよ。

空港拡張のため土地を取りあげられることは大問題である、県の示した買収価格は充分であるとはいえない、利用者は市外のものが大部分である、県下の市町村で財政負担をしてもらい買収価格に上積みすべきだと考えます。

空港拡張は県民のために、よいと思います。

空港拡張は市民の繁栄にならず現状でよい。

欧州行政視察を終えて①

市長　小笠原　喜郎

先に欧州視察旅行を終えた小笠原市長に原稿をいただきましたので、今回からシリーズで掲載します。

モスコーの宿

私はこの日から革新系の市長と終始部屋をともにすることになっている。この人は一行の幹部役で、気さくで明朗なよい相棒であるし、翌日から始める視察箇所で、時おり目のつけどころが違っていたのもかえってよい勉強になった。

ホテルの廊下が少し暗い。部屋も暗いので読み書きはあきらめる。それはよいとして、エレベーターになると揺れながらギーギーと音を立てて動くのは気になる。一行の中の専門家に言わせると、建物全体、いわゆる省けるだけ手を抜いてあるという。そう言われてよく見ると、なる程どうなづけるが床のじゅうたんも階段も少々汚れているのはどうしたことか。労働力が足りないのかとも思ってみる。

今日は第百三十二中学校を参観することになっている。ガイドのエリーナさんの他に、大学を出たばかりの青年がガイドをやってくれることになる。この青年も日本語は比較的達者であるが、ソ連と日本の政治体制、行政機構の相違については素養に乏しく、後刻始まったこちらの質問が十分に理解されず、ご自身難渋することになったのは気の毒であった。

「考えられる最高の政治体制」とその「申し子」をあずかる熱烈な教育者

学校にたどり着き、玄関に出迎えてくれた校長はアビーホアさんという女性であった。その風ぼうときびきびした応待ぶりは底抜けに人のよさそうなクロークのおばさんや教員室で待っていてくれた女先生とはまるで違っていた。この人がぶらさげている一握りの鍵の束は何を意味するだろうか。

ソ連の学制は、就学前々教育、就学前教育、小学、中学、高校（又は専門学校）、大学に大別される。保育所は幼稚園の前段階にあたる性格のものであったが、最近は合併せられて保育幼稚園となり、一貫して教育省の所管になっている。子供は生れて二ヵ月たつとあずかることになっているので、「生涯教育」の出発点は「生れた日から」始められるといえよう。義務教育は原則として十年制となっているが、この学校は八年生である。ピオニール（9歳から14歳までの少年少女によって組織された共産主義少年団で、学習活動やキャンプなど集団活動を行う）組織ができていて、集団教育もやっている。

十四歳になればコムソモール（15歳から26歳の青少年で組織される全連邦レーニン共産主義青年同盟）に入る資格ができる。いずれも自発的ということになっている。肉体労働と知的労働にへだてがあってはならない。生活機能を高めるためには教育を通じて調和のとれた人間を養成しなければならない。そのために特定の農村や工場とこの学校は姉妹関係を結んで、「実習」をやらせている。中学生の教育は科学の基礎知識を身につけさせ、社会主義社会の原則を理解し、共産主義思想の育成をはかり、教育と労働、教育と共産主義建設の実践を結びつける基本原則を教え込むことにある。

学校の運営については、市（モスコー）に委員会があり、地区にも父兄にも、学校内にも委員会がある。時には工場等からも演説に来る。休日は、スポーツ、音楽、劇などをやらせて、なるべく解放しないようにしている。それにはピオールの児童共産主義組織、共産青年同盟の規約にもとづくコムソモールの組織を活用する。

校長の話はよどみなく続けられるが、我々は遠慮ない質問をする。